



II 組織の 運営管理	1 経営状況の把握	(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	①事業経営をとりまく環境を適切に把握している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>1.社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握するための方法を持っている。</li> <li>2.利用者数・利用者像等について、事業所が位置する地域での特徴・変化等を把握している。</li> <li>3.福祉サービスのニーズ、潜在的利用者に関するデータ等を収集している。</li> <li>4.把握された情報やデータが、中・長期計画や各年度の事業計画に反映されている。</li> </ul>	a	A	情報やデータの中・長期計画や事業計画への反映	保養利用者や学校とコミュニケーションをとり、情報の収集を行う	今後も情報の収集を継続し、中・長期計画や事業計画に反映する	<ul style="list-style-type: none"> <li>1.社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握するための方法を持っている。</li> <li>2.利用者数・利用者像等について、事業所が位置する地域での特徴・変化等を把握している。</li> <li>3.福祉サービスのニーズ、潜在的利用者に関するデータ等を収集している。</li> <li>4.把握された情報やデータが、中・長期計画や各年度の事業計画に反映されている。</li> </ul>	a	A	利用者とのコミュニケーションをとり情報をとり情報を把握している。互いにレベルアップも図れている。													
			②経営状況を分析して改善すべき課題を特定する取り組みを行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>1.定期的にサービスのコスト分析やサービス利用者の推移、利用率等の分析を行っている。</li> <li>2.改善に向けた取組が、中・長期計画や各年度の事業計画に反映されている。</li> <li>3.経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。</li> </ul>	a																					
			③外部監査が実施されている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>1.外部監査の結果や、公認会計士等による指導や指摘事項に基づいて、経営改善を実施している。</li> </ul>	a																					
			④経営方針を確立している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>1.経営方針を確立し、職員と文書で共有している。</li> <li>2.経営方針を元に毎月の事業計画をたてている。</li> </ul>	a																					
			⑤計画的に予算を執行している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>1.現金の出納があった日には、必ず当日中に現金出納帳またはそれに準ずるものに記入し、定期的に収支決算を出している。</li> <li>2.設備・備品管理は記録を残している。</li> <li>3.前年度の財務諸表に基づき、必要な設備投資を行っている。</li> <li>4.前年度の財務諸表に基づき、不必要な経費を削減している。</li> <li>5.費用削減の観点には、サービスの質にかかわる費用の削減は行っていない。</li> <li>6.サービスを受ける側からの設備や消耗品に関する意見を聞き、実行に移している。</li> <li>7.設備投資を検討するに当たり、職員の意見を参考にしている。</li> <li>8.借入金（車両、建物のローン含む）がある場合、返済までの資金計画は施設運営を圧迫せず、計画的である。</li> </ul>	a					大型遊具が安全規格外で使用中止状態	大型遊具を安全に使用できるように整備する			11月下旬に改修が決定している												
	2 人材の確保・育成	(1) 必要な人事管理の体制が整備されている。	①必要な人事管理の体制が整備されている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>1.必要な人材や人員体制に関する基本的な考え方、人事管理に関する方針が確立している。</li> <li>2.社会福祉士や介護福祉士等の有資格職員の配置等、必要な人材や人員体制について具体的なプランがある。</li> <li>3.プランに基づいた人事管理が実施されている。</li> </ul>	a	A	施設特有の資格の必要性	施設に必要な資格取得の講習会に参加	レクリエーションインストラクターの資格取得のため受講中（1名）	<ul style="list-style-type: none"> <li>1.必要な人材や人員体制に関する基本的な考え方、人事管理に関する方針が確立している。</li> <li>2.社会福祉士や介護福祉士等の有資格職員の配置等、必要な人材や人員体制について具体的なプランがある。</li> <li>3.プランに基づいた人事管理が実施されている。</li> </ul>	a	A	A													
				②人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>1.人事考課の目的や効果を正しく理解している。</li> <li>2.考課基準を職員に明確に示すことや、結果の職員へのフィードバック等の具体的な方策によって、客観性や透明性の確保が図られている。</li> </ul>					a																
				(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	①職員の労働者としての権利は守られている。					<ul style="list-style-type: none"> <li>1.労働協約・就業規則を文書で整備し、施設管理者・経営者と職員が共有している。</li> <li>2.時間外労働・休日労働には、適切に賃金が支払われている。</li> </ul>	a															
										②職員の役割分担は、明確にされている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>1.職員それぞれの業務範囲は、文書で示されている。</li> <li>2.職員一人ひとりが自分の業務範囲を把握し、実行している。</li> </ul>						a									
											③職員の就業状況や意向を把握し、必要があれば、改善する仕組みが構築されている。						<ul style="list-style-type: none"> <li>1.職員の有給休暇の消化率や時間外労働のデータを、定期的にチェックしている。</li> <li>2.把握した職員の意向・意見や就業状況チェックの結果を、分析・検討する担当者や担当部署等を設置している。</li> <li>3.分析した結果について、改善策を検討する仕組みがある。</li> </ul>	a	A	施設単位でのカウンセラーの配置は無い	産業医の活用	産業医の定期的な来所にてアドバイスをうける	<ul style="list-style-type: none"> <li>1.労働協約・就業規則を文書で整備し、施設管理者・経営者と職員が共有している。</li> <li>2.時間外労働・休日労働には、適切に賃金が支払われている。</li> </ul>	a	A	A
		<ul style="list-style-type: none"> <li>4.改善策については、人材や人員体制に関する具体的なプランに反映し実行している。</li> <li>5.定期的に職員との個別面談の機会を設ける等、職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。</li> <li>6.希望があれば職員が相談できるように、カウンセラーや専門家を確保している。</li> </ul>	a																							
		<ul style="list-style-type: none"> <li>1.職員の健康管理に配慮し、そのための措置を講じている。</li> <li>2.職員の希望の聴取等をもとに、福利厚生センターへの加入等、総合的な福利厚生事業を実施している。</li> </ul>	a																							
		(3) 職員の質の向上に向けた体制が整備されている。	①職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>1.組織が目指す福祉サービスを実施するために、基本方針や中・長期計画の中に、組織が職員に求める基本的姿勢や意識を明示している。</li> <li>2.現在実施している福祉サービスの内容や目標を踏まえて、基本方針や中・長期計画の中に、組織が職員に求める専門技術や専門資格を明示している。</li> <li>3.職員・役員の役割を問わず、継続的研修を毎年行っている。</li> <li>4.専門資格取得のため、勤務時間等について配慮している。</li> </ul>	a	A	職員の知識・技術等や専門職としてのレベルアップ	県社協で主催する各種研修や、その他必要と思われる研修への参加	スキルアップに役立っている	<ul style="list-style-type: none"> <li>1.組織が目指す福祉サービスを実施するために、基本方針や中・長期計画の中に、組織が職員に求める基本的姿勢や意識を明示している。</li> <li>2.現在実施している福祉サービスの内容や目標を踏まえて、基本方針や中・長期計画の中に、組織が職員に求める専門技術や専門資格を明示している。</li> <li>3.職員・役員の役割を問わず、継続的研修を毎年行っている。</li> <li>4.専門資格取得のため、勤務時間等について配慮している。</li> </ul>	a	A	A													
				②個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定された計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>1.採用時には試用期間を設け、採用時研修を十分に行っている。</li> <li>2.職員一人ひとりについて、基本姿勢に沿った教育・研修計画が策定されている。</li> <li>3.個別の職員の技術水準、知識、専門資格の必要性などを把握している。</li> <li>4.策定された教育・研修計画に基づき、実際に計画に従った教育・研修が実施されている。</li> <li>5.教育・研修は、新しい技法や様々な実践の成果について常に情報収集を行うケース会議とは別に、事例検討会を開く、外部から講師を招くなど、有効と思われる知識・技術の導入に努めている。</li> <li>6.より高度で充実したサービスを提供するため、職員の専門資格取得を積極的に進めている。</li> <li>7.施設外の研修会・大会・学会等への参加や研究発表を積極的にに行い、外部との比較を施設サービスの向上に役立っている。</li> </ul>					a																

		<p>③定期的に個別の教育・研修計画の計画・見直しを行っている。</p> <p>■ 1.研修を終了した職員は、報告レポートを作成している。</p> <p>■ 2.研修を終了した職員が、研修内容を発表する機会を設けている。</p> <p>□ 3.報告レポートや発表、当該職員の研修後の業務等によって、研修成果に関する評価・分析を行っている。</p> <p>■ 4.評価・分析された結果を次の研修計画に反映している。</p> <p>■ 5.評価・分析された結果に基づいて、研修内容やカリキュラムの見直しを行っている。</p>	a	研修結果の分析は等が行っていない	会議等で研修内容の報告・実践	研修の伝達で知識技能のレベルアップが図れるよう会議等で確認している	<p>■ 1.研修を終了した職員は、報告レポートを作成している。</p> <p>■ 2.研修を終了した職員が、研修内容を発表する機会を設けている。</p> <p>□ 3.報告レポートや発表、当該職員の研修後の業務等によって、研修成果に関する評価・分析を行っている。</p> <p>■ 4.評価・分析された結果を次の研修計画に反映している。</p> <p>■ 5.評価・分析された結果に基づいて、研修内容やカリキュラムの見直しを行っている。</p>	a	研修成果に関する評価・分析を行うことで、次の研修計画の反映を図る	評価・分析を行い次の研修計画への反映の実施。研修計画までつなげていく。	次年度は年間の計画に組み入れていく。
	(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	<p>①実習生の受け入れに関する基本姿勢を明文化している。</p> <p>■ 2.実習生の受け入れについて、受け入れについての連絡窓口、事前説明、オリエンテーションの実施方法等の項目が記載されたマニュアルが整備されている。</p> <p>□ 3.受け入れにあたっては、学校と覚書を取り交わす等によって、実習における責任体制を明確にしている。</p> <p>■ 4.実習指導者に対する研修を実施している。</p> <p>■ 1.実習内容全般を計画的に学べるようなプログラムを用意している。</p> <p>■ 2.学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。</p> <p>■ 3.社会福祉士、介護福祉士、ホームヘルパー等の種別に配慮したプログラムを用意している。</p>	c	学生の実習生については、受け入れが無いため具体的な対策等はない	実習の要望があればプログラムの整備する等体制は整っている	学校側の実習先に組み込まれていないためか利用はない	<p>□ 1.実習生の受け入れに関する基本姿勢を明文化している。</p> <p>□ 2.実習生の受け入れについて、受け入れについての連絡窓口、事前説明、オリエンテーションの実施方法等の項目が記載されたマニュアルが整備されている。</p> <p>□ 3.受け入れにあたっては、学校と覚書を取り交わす等によって、実習における責任体制を明確にしている。</p> <p>□ 4.実習指導者に対する研修を実施している。</p> <p>□ 1.実習内容全般を計画的に学べるようなプログラムを用意している。</p> <p>□ 2.学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。</p> <p>□ 3.社会福祉士、介護福祉士、ホームヘルパー等の種別に配慮したプログラムを用意している。</p>	b			
	②実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	<p>■ 1.実習内容全般を計画的に学べるようなプログラムを用意している。</p> <p>■ 2.学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。</p> <p>■ 3.社会福祉士、介護福祉士、ホームヘルパー等の種別に配慮したプログラムを用意している。</p>	c								
3 安全管理	(1) 緊急時利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。	<p>①緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。</p> <p>■ 1.管理者は、利用者の安全確保の取組についてリーダーシップを発揮している。</p> <p>■ 2.利用者の安全確保に関する担当者・担当部署を設置している。</p> <p>■ 3.安全確保に関する検討を行う利用者と担当職員等が参加した検討会を、定期的に開催している。</p> <p>■ 4.障害の種類やリスクの種類別に、責任と役割を明確にした管理体制やマニュアルが整備され、職員および利用者・家族等に周知している。</p> <p>■ 5.マニュアルに沿って緊急時を想定した訓練を行っている。</p> <p>■ 6.利用者の帰宅時での災害や事故についても、連絡方法や支援体制を策定している。</p> <p>■ 7.利用者一人ひとりに健康管理票やカードが作成されており、緊急時の際に利用者の状態を的確に伝えることができる。</p> <p>■ 8.職員に対し、必要な救急法の研修を行っている。</p> <p>■ 9.緊急の場合に備えて警察、消防署、医療機関、地域の自治会や団体等と情報交換、連絡・協力体制を作っている。</p> <p>■ 5.緊急時の対応マニュアルの確認は、適切な頻度で行われている。</p>	a	危険箇所についてはそのつと利用者へ説明している。	安全衛生委員会を中心として、危険箇所のチェック・整備を実施。	短期保護利用等については怪我、急病への援助については契約書にて説明	<p>□ 1.管理者は、利用者の安全確保の取組についてリーダーシップを発揮している。</p> <p>□ 2.利用者の安全確保に関する担当者・担当部署を設置している。</p> <p>□ 3.安全確保に関する検討を行う利用者と担当職員等が参加した検討会を、定期的に開催している。</p> <p>□ 4.障害の種類やリスクの種類別に、責任と役割を明確にした管理体制やマニュアルが整備され、職員および利用者・家族等に周知している。</p> <p>□ 5.マニュアルに沿って緊急時を想定した訓練を行っている。</p> <p>□ 6.利用者の帰宅時での災害や事故についても、連絡方法や支援体制を策定している。</p> <p>□ 7.利用者一人ひとりに健康管理票やカードが作成されており、緊急時の際に利用者の状態を的確に伝えることができる。</p> <p>□ 8.職員に対し、必要な救急法の研修を行っている。</p> <p>□ 9.緊急の場合に備えて警察、消防署、医療機関、地域の自治会や団体等と情報交換、連絡・協力体制を作っている。</p> <p>□ 5.緊急時の対応マニュアルの確認は、適切な頻度で行われている。</p>	a			
	②利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	<p>■ 1.利用者の安全を脅かす事例の収集の仕組みを整備した上で実施している。（県6-11）</p> <p>■ 2.収集した事例について、職員と有識者の参画のもとで発生要因を分析し、未然防止策を検討している。</p> <p>■ 3.事故がおきたら、その事故を元に再発防止マニュアルを改善する会議を開いている。</p> <p>■ 4.万一、事故がおきた時の対応法のマニュアルが整備されている。</p> <p>■ 5.職員及び利用者に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。</p> <p>■ 6.事故防止策等の安全確保の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。</p> <p>■ 7.事故処理の記録・保存を行っている。</p>	a				<p>■ 1.利用者の安全を脅かす事例の収集の仕組みを整備した上で実施している。（県6-11）</p> <p>■ 2.収集した事例について、職員と有識者の参画のもとで発生要因を分析し、未然防止策を検討している。</p> <p>■ 3.事故がおきたら、その事故を元に再発防止マニュアルを改善する会議を開いている。</p> <p>■ 4.万一、事故がおきた時の対応法のマニュアルが整備されている。</p> <p>■ 5.職員及び利用者に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。</p> <p>■ 6.事故防止策等の安全確保の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。</p> <p>■ 7.事故処理の記録・保存を行っている。</p>	a			
	③施設の建物ならびに施設の周辺に施設周辺の定期的な点検・整備されている。	<p>■ 1.施設の建物ならびに施設周辺の点検・整備マニュアルが整備されている。</p> <p>■ 2.点検・整備マニュアルにそって、定期的に点検・整備を行っている。</p> <p>■ 3.点検・整備の責任者が明確にされている。</p>	a				<p>□ 1.施設の建物ならびに施設周辺の点検・整備マニュアルが整備されている。</p> <p>□ 2.点検・整備マニュアルにそって、定期的に点検・整備を行っている。</p> <p>□ 3.点検・整備の責任者が明確にされている。</p>				
	④施設周辺の環境へ配慮している。	<p>■ 1.生活排水等の処理に関して、法律に基づいたマニュアルが整備されている。</p> <p>■ 2.施設での騒音等について周辺住民にアンケートをとるなどとして、周辺への影響を把握し、改善するための話し合いなどを行っている。</p>	b	立地上必要ないと考え、住民へのアンケートは実施していない			<p>□ 1.生活排水等の処理に関して、法律に基づいたマニュアルが整備されている。</p> <p>□ 2.施設での騒音等について周辺住民にアンケートをとるなどとして、周辺への影響を把握し、改善するための話し合いなどを行っている。</p>				
4 地域との交流と連携	(1) 地域との関係が適切に確保されている。	<p>①利用者との関わり方について基本的な考え方を文書化している。</p> <p>■ 2.活用できる社会資源や地域の情報を収集し、掲示板の利用等で利用者に提供している。</p> <p>■ 3.広報等を定期的に発行し、地域住民・ボランティアに施設の活動を理解してもらい、協力を得る努力をしている。</p> <p>■ 4.利用者が地域の行事や活動に参加する際、必要があれば職員やボランティアが援助を行う体制が整っている。</p> <p>■ 5.施設での行事への地域住民の参加を呼びかけている。</p> <p>■ 6.地域の人々に向けた、施設や利用者への理解を得るための日常的なコミュニケーションを心掛けている。</p> <p>■ 7.利用者の買い物や通院等の日常的な活動についても、定期的でなく個々の利用者のニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。</p> <p>■ 8.利用者が地域の人たちと企画の段階から参加するような、行事、レクリエーション、スポーツなどがある。</p>	a	8については入所施設ではないため実施していない			<p>■ 1.地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。</p> <p>■ 2.活用できる社会資源や地域の情報を収集し、掲示板の利用等で利用者に提供している。</p> <p>■ 3.広報等を定期的に発行し、地域住民・ボランティアに施設の活動を理解してもらい、協力を得る努力をしている。</p> <p>■ 4.利用者が地域の行事や活動に参加する際、必要があれば職員やボランティアが援助を行う体制が整っている。</p> <p>■ 5.施設での行事への地域住民の参加を呼びかけている。</p> <p>■ 6.地域の人々に向けた、施設や利用者への理解を得るための日常的なコミュニケーションを心掛けている。</p> <p>■ 7.利用者の買い物や通院等の日常的な活動についても、定期的でなく個々の利用者のニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。</p> <p>■ 8.利用者が地域の人たちと企画の段階から参加するような、行事、レクリエーション、スポーツなどがある。</p>	a			
	②事業所が有する機能を地域に還元している。	<p>■ 1.介護等について、専門的な技術講習会や福祉を理解するための研修会、地域住民の生活に役立つ講演会等を開催して、地域へ参加を呼びかけている。</p> <p>■ 2.介護相談、在宅障害者やその家族等に対する相談支援事業等、地域ニーズに応じ住民が自由に参加できる多様な支援活動を行っている。</p> <p>■ 3.地域へ向けて、理念や基本方針、施設で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。</p> <p>■ 4.規程を設けた上で、地域へ施設を開放している。</p>	a				<p>□ 1.介護等について、専門的な技術講習会や福祉を理解するための研修会、地域住民の生活に役立つ講演会等を開催して、地域へ参加を呼びかけている。</p> <p>□ 2.介護相談、在宅障害者やその家族等に対する相談支援事業等、地域ニーズに応じ住民が自由に参加できる多様な支援活動を行っている。</p> <p>□ 3.地域へ向けて、理念や基本方針、施設で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。</p> <p>□ 4.規程を設けた上で、地域へ施設を開放している。</p>	a			
	③ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし、体制を確立している。	<p>■ 1.ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明文化している。</p> <p>■ 2.ボランティア受け入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している。</p> <p>■ 3.ボランティアに対して必要な研修を行っている。</p> <p>■ 4.ボランティア育成に向けて、ボランティア講座や体験学習等を計画的に実施している。（県5-9）</p>	a				<p>■ 1.ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明文化している。</p> <p>■ 2.ボランティア受け入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している。</p> <p>■ 3.ボランティアに対して必要な研修を行っている。</p> <p>■ 4.ボランティア育成に向けて、ボランティア講座や体験学習等を計画的に実施している。（県5-9）</p>	a			







	③喫食環境(食事時間を含む)に配慮している。	1. 食堂の設備や雰囲気について定期的に検討会議を開き、必要に応じて改善を図っている。 2. 食事は、利用者全員が一斉に摂るのではなく、幅のある時間帯の中で個人が好む時間に摂ることができる。	a		一応の食事時間は定まっている。	遅れてくる等は一定時間(調理後2時間)保存している。	温め直して提供している	1. 食堂の設備や雰囲気について定期的に検討会議を開き、必要に応じて改善を図っている。 2. 食事は、利用者全員が一斉に摂るのではなく、幅のある時間帯の中で個人が好む時間に摂ることができる。						
(2) 入浴(入浴施設限定)	①入浴は、利用者の障害程度や介護方法など個人的事情に配慮している。 ②入浴は、利用者の希望に沿って行われている。 ③浴室・脱衣場等の設備は、清潔である。	1. 一人ひとりの健康状態や注意事項について、サービス実施計画や個別チェックリスト等を利用している。 2. 安全やプライバシーの保護を含めて、入浴介助や支援・助言方法についてマニュアルが用意されている。 3. 男女別々に入浴できるようにしている。 4. 入浴介助の際、同性介助が守られている。 5. 入浴の介助や支援・助言業務は、所定の様式により記録されている。 1. 浴室・脱衣場の設備や入浴器具等の設置等については、検討会議を持っている。 2. 脱衣場の冷暖房設備は、気候や利用者の身体的状態に応じて調整できる。 3. 浴室や脱衣場は、入浴の際に裸体を他人(介助者は除く)に見せないよう、プライバシーを保護する構造・設備上の工夫や保護する環境を確保するための工夫が行われている。	a	A	当日の利用者と相談している	入所施設でないため週間回数はない	希望時間帯での入浴を提供できている	1. 一人ひとりの健康状態や注意事項について、サービス実施計画や個別チェックリスト等を利用している。 2. 安全やプライバシーの保護を含めて、入浴介助や支援・助言方法についてマニュアルが用意されている。 3. 男女別々に入浴できるようにしている。 4. 入浴介助の際、同性介助が守られている。 5. 入浴の介助や支援・助言業務は、所定の様式により記録されている。 1. 設定された時間のほかに、失禁や汗をかいた場合等必要に応じて入浴が可能である。 2. 入浴の時間帯や週間回数について、利用者との話し合いで決めている。	a	A				
(3) 排泄	①排泄介助は、快適に行われている。 ②トイレは、清潔で快適である。	1. 排泄介助に際して、利用者の健康状態や注意事項について、サービス実施計画や個別チェックリスト等を作成している。 2. 作成した個別チェックリストを活用し、適切なトイレ誘導や夜尿起こし等を行っている。 3. 排泄介助のマニュアル(安全、プライバシー、便秘・尿意・失禁への対応を含む)が用意されている。 4. 排泄用具(おむつ、移動式便器、集尿器、探尿器、ストマ用具等)の使用法について、衛生や防臭を考慮したマニュアルが用意されている。 5. 排泄介助の結果は、所定の様式により記録されている。 1. 身体状況に応じた設備や補助員の配備を含めて、トイレ環境の点検・改善のための検討を定期的に行っている。 2. プライバシーに配慮したトイレの構造・設備になっている。 3. 換気や適切な薬品使用等の防臭対策がなされている。 4. 清掃は、毎日行われ、汚れた場合は直ちに対応している。 5. 採光・照明等は適切である。 6. 冷暖房設備がある。	a	A	冷房は無い	扇風機を設置して対応している	特に苦情は出ていない	1. 排泄介助に際して、利用者の健康状態や注意事項について、サービス実施計画や個別チェックリスト等を作成している。 2. 作成した個別チェックリストを活用し、適切なトイレ誘導や夜尿起こし等を行っている。 3. 排泄介助のマニュアル(安全、プライバシー、便秘・尿意・失禁への対応を含む)が用意されている。 4. 排泄用具(おむつ、移動式便器、集尿器、探尿器、ストマ用具等)の使用法について、衛生や防臭を考慮したマニュアルが用意されている。 5. 排泄介助の結果は、所定の様式により記録されている。 1. 身体状況に応じた設備や補助員の配備を含めて、トイレ環境の点検・改善のための検討を定期的に行っている。 2. プライバシーに配慮したトイレの構造・設備になっている。 3. 換気や適切な薬品使用等の防臭対策がなされている。 4. 清掃は、毎日行われ、汚れた場合は直ちに対応している。 5. 採光・照明等は適切である。 6. 冷暖房設備がある。	a	A	日中一時支援や短期入所の利用者には生活記録の中に記載			
(4) 衣服	①衣類の着替え時の支援や汚れた時の対応は適切である。	1. 利用者が着替えを希望した場合、特別な場合(強いこだわり等)を除き、その意思を尊重している。 2. 介助に頼らず自ら着替えをしたいという希望のある利用者に対しては、その意思を尊重して対応している。 3. 汚れや破損が生じた場合に、速やかに対処するための業務手順が用意されている。	a	A	冷房設備は無い			1. 利用者が着替えを希望した場合、特別な場合(強いこだわり等)を除き、その意思を尊重している。 2. 介助に頼らず自ら着替えをしたいという希望のある利用者に対しては、その意思を尊重して対応している。 3. 汚れや破損が生じた場合に、速やかに対処するための業務手順が用意されている。						
(5) 理容・美容(サービス提供施設のみ回答)	①理容店や美容院の利用について、地図が利用者の身近にあったり、必要に応じて職員の出向や同行などの支援を行っている。 ②利用する理容店や美容院に対しては、理解と協力を得られるよう、必要に応じて職員が連絡・調整を行っている。	1. 髪型や化粧の仕方等は、利用者の意思で決めている。 2. 職員は、必要があれば、髪型や化粧を手伝ったり、又は相談に応じたりしている。 3. 利用者が選択できるよう、理容・美容に関する資料や情報を用意している。			非該当			1. 髪型や化粧の仕方等は、利用者の意思で決めている。 2. 職員は、必要があれば、髪型や化粧を手伝ったり、又は相談に応じたりしている。 3. 利用者が選択できるよう、理容・美容に関する資料や情報を用意している。						
(6) 睡眠(入浴施設限定)	①安眠できるように配慮している。	1. 居室やベッド周辺の光や音について、利用者の希望や状況に応じた適切な配慮がなされている。 2. 夜間就寝中の利用者に対するサービスについては、体位変換やおむつ交換、さらには睡眠リズムの乱れや不眠者への対応等を含むマニュアルが用意されている。 3. 夜間に行われた個別支援は、所定の様式で記録されている。 4. 寝具は、利用者の好みに基づいて用意され、又は私物使用も認められている。 5. 不眠等により同室者に影響を及ぼす場合、一時的に他の部屋を使用することができ			非該当			1. 居室やベッド周辺の光や音について、利用者の希望や状況に応じた適切な配慮がなされている。 2. 夜間就寝中の利用者に対するサービスについては、体位変換やおむつ交換、さらには睡眠リズムの乱れや不眠者への対応等を含むマニュアルが用意されている。 3. 夜間に行われた個別支援は、所定の様式で記録されている。 4. 寝具は、利用者の好みに基づいて用意され、又は私物使用も認められている。 5. 不眠等により同室者に影響を及ぼす場合、一時的に他の部屋を使用することができ						
(7) 健康管理	①日常の健康管理は適切である。 ②必要な時、迅速かつ適切な医療が受けられる。 ③内服薬・外用薬等の扱いは、確実にされている。	1. 利用者一人ひとりの健康管理票が整備されている。 2. 利用者の健康管理マニュアルが用意されている。 3. 医師又は看護師による健康相談を受けることができる。 4. 医師又は看護師が、利用者(及び必要に応じて家族等)に対して健康面の説明を定期的に行っている。 5. 利用者(及び必要に応じて家族)の承諾を得て、インフルエンザ等の予防接種を行っている。 6. 健康の維持・増進のため、日常生活の中に取り入れるプログラムが用意されている。 7. 歯科医師又は歯科衛生士により、歯磨き、歯磨き介助、歯肉マッサージ等の方法やその他の口腔衛生について、定期的に指導を受けている。 1. 健康面に課題があった場合の対応の手順は、マニュアルとして用意されている。 2. 緊急時の医療機関への連絡の手順などを職員全員が把握するよう、マニュアルに記載している。 3. 地域内に協力的な医療機関(診療所又は病院、概ね20分以内でアクセスできる診療所又は病院)を確保している。 4. 確保している医療機関では、迅速かつ適切な医療が受けられるように、日常的な連携を図っている。 1. 利用者(及び必要に応じて家族等)並びに担当職員は、薬の目的・性質・効果・副作用・注意事項等について、利用者と一緒に医師の説明を聞くなど、適切な情報を得ている。 2. 一人ひとりの利用者(及び必要に応じて家族等)に使用される薬物の管理(保管から服用・使用確認に至るまで)について、マニュアルが用意されている。 3. 薬物の取り置き・服用拒否や服用忘れ・重複服用等、薬物使用に誤りがあった場合の対応について、マニュアルが用意されている。 4. 内服・外用薬の使用状況は、所定の様式に従って記録されている。	a	A	当日の生活記録・業務日誌・引継簿に記載。5は入所施設でないため非該当	短所入所や日中一時支援の利用者の内服薬・外用薬受け渡しのリスク管理(20年度サービス評価で第三者委員に指摘)	内服薬・外用薬のお薬情報を家庭から提供してもらい、利用時の薬の受取について紙面で確認し合う方法をとっている	互いに確認し合うことが出来る、確実である	1. 利用者一人ひとりの健康管理票が整備されている。 2. 利用者の健康管理マニュアルが用意されている。 3. 医師又は看護師による健康相談を受けることができる。 4. 医師又は看護師が、利用者(及び必要に応じて家族等)に対して健康面の説明を定期的に行っている。 5. 利用者(及び必要に応じて家族)の承諾を得て、インフルエンザ等の予防接種を行っている。 6. 健康の維持・増進のため、日常生活の中に取り入れるプログラムが用意されている。 7. 歯科医師又は歯科衛生士により、歯磨き、歯磨き介助、歯肉マッサージ等の方法やその他の口腔衛生について、定期的に指導を受けている。 1. 健康面に課題があった場合の対応の手順は、マニュアルとして用意されている。 2. 緊急時の医療機関への連絡の手順などを職員全員が把握するよう、マニュアルに記載している。 3. 地域内に協力的な医療機関(診療所又は病院、概ね20分以内でアクセスできる診療所又は病院)を確保している。 4. 確保している医療機関では、迅速かつ適切な医療が受けられるように、日常的な連携を図っている。 1. 利用者(及び必要に応じて家族等)並びに担当職員は、薬の目的・性質・効果・副作用・注意事項等について、利用者と一緒に医師の説明を聞くなど、適切な情報を得ている。 2. 一人ひとりの利用者(及び必要に応じて家族等)に使用される薬物の管理(保管から服用・使用確認に至るまで)について、マニュアルが用意されている。 3. 薬物の取り置き・服用拒否や服用忘れ・重複服用等、薬物使用に誤りがあった場合の対応について、マニュアルが用意されている。 4. 内服・外用薬の使用状況は、所定の様式に従って記録されている。	a	A			
(8) 余暇・レクリエーション	①余暇・レクリエーションは、利用者の希望に沿って行われている。	1. 利用者が施設で楽しめるよう、定期的にレクリエーション活動を行っている。 2. 話し合いやアンケート等を通じて、利用者の意向を把握している。 3. 利用者には、余暇・レクリエーションに関する情報を提供している。 4. 利用者自身が主体的に企画・立案するよう、職員は側面的な支援をしている。 5. 必要に応じて、外部から協力者(ボランティア)を受け入れている。 6. 地域の社会資源を積極的に活用している。 7. 各個人の状況等を考慮し、レクリエーションを強制していない。	a	A				1. 利用者が施設で楽しめるよう、定期的にレクリエーション活動を行っている。 2. 話し合いやアンケート等を通じて、利用者の意向を把握している。 3. 利用者には、余暇・レクリエーションに関する情報を提供している。 4. 利用者自身が主体的に企画・立案するよう、職員は側面的な支援をしている。 5. 必要に応じて、外部から協力者(ボランティア)を受け入れている。 6. 地域の社会資源を積極的に活用している。 7. 各個人の状況等を考慮し、レクリエーションを強制していない。	a	A				

(9) 外出、外泊(入所施設限定)	①外出は、利用者の希望に応じて行われている。	<input type="checkbox"/> 1.外出に関して、利用者の希望を聞く機会を定期的に設けている。 <input type="checkbox"/> 2.利用者の代表や自治会等と話し合っ、外出についてのルールを設けている。 <input type="checkbox"/> 3.一人で外出することの困難な利用者に対して、計画的に外出の機会を確保している。 <input type="checkbox"/> 4.必要なときには、職員・ガイドヘルパー・地域のボランティア等、いずれかのからの介助や支援・助言を受けられる体制が整っている。 <input type="checkbox"/> 5.地域のガイドマップやイベント等の情報を普段から収集するよう努め、利用者提供している。 <input type="checkbox"/> 6.外出に伴う安全確保や不測の事態に備えて、利用者に必要な学習を行うとともに、連絡先を明示したカード等を準備し、利用している。	非該当			<input type="checkbox"/> 1.外出に関して、利用者の希望を聞く機会を定期的に設けている。 <input type="checkbox"/> 2.利用者の代表や自治会等と話し合っ、外出についてのルールを設けている。 <input type="checkbox"/> 3.一人で外出することの困難な利用者に対して、計画的に外出の機会を確保している。 <input type="checkbox"/> 4.必要なときには、職員・ガイドヘルパー・地域のボランティア等、いずれかのからの介助や支援・助言を受けられる体制が整っている。 <input type="checkbox"/> 5.地域のガイドマップやイベント等の情報を普段から収集するよう努め、利用者提供している。 <input type="checkbox"/> 6.外出に伴う安全確保や不測の事態に備えて、利用者に必要な学習を行うとともに、連絡先を明示したカード等を準備し、利用している。				
	②外泊は、利用者の希望によるよう配慮されている。	<input type="checkbox"/> 1.外泊に関して、利用者の希望を定期的に設けている。 <input type="checkbox"/> 2.利用者の代表や自治会等と話し合っ、利用者主体のルールを設け、文書化している。 <input type="checkbox"/> 3.施設側の都合で決めるのではなく、利用者及び家族の立場に立って、担当職員がその調整を行うようしている。 <input type="checkbox"/> 4.盆や正月の外泊は、強制したり、利用者や家族の事情を考慮せずに要請するようなことはしていない。	非該当			<input type="checkbox"/> 1.外泊に関して、利用者の希望を定期的に設けている。 <input type="checkbox"/> 2.利用者の代表や自治会等と話し合っ、利用者主体のルールを設け、文書化している。 <input type="checkbox"/> 3.施設側の都合で決めるのではなく、利用者及び家族の立場に立って、担当職員がその調整を行うようしている。 <input type="checkbox"/> 4.盆や正月の外泊は、強制したり、利用者や家族の事情を考慮せずに要請するようなことはしていない。				
(10) 所持金・預かり金の管理(入所施設限定)	①預かり金について、適切な管理体制が作られている。	<input type="checkbox"/> 1.利用者の預かり金については、その取り扱い規約を定め、責任の所在を明確にしている。 <input type="checkbox"/> 2.所持金・預かり金の管理方法について、利用者及び家族等に対して説明をし、書面で了解を得た上で管理をしている。 <input type="checkbox"/> 3.金銭等の自己管理ができるように配慮されている。 <input type="checkbox"/> 4.自己管理が出来る人には、主体性を尊重し、側面的な支援として金銭等を保管する場所と設備を提供している。 <input type="checkbox"/> 5.自己管理に支援を必要とする人には、小遣い帳を活用するなどして、自己管理に向けた学習を支援している。 <input type="checkbox"/> 6.金銭管理技能を含む経済的な対応能力を高めるための学習プログラムが用意されている。	非該当			<input type="checkbox"/> 1.利用者の預かり金については、その取り扱い規約を定め、責任の所在を明確にしている。 <input type="checkbox"/> 2.所持金・預かり金の管理方法について、利用者及び家族等に対して説明をし、書面で了解を得た上で管理をしている。 <input type="checkbox"/> 3.金銭等の自己管理ができるように配慮されている。 <input type="checkbox"/> 4.自己管理が出来る人には、主体性を尊重し、側面的な支援として金銭等を保管する場所と設備を提供している。 <input type="checkbox"/> 5.自己管理に支援を必要とする人には、小遣い帳を活用するなどして、自己管理に向けた学習を支援している。 <input type="checkbox"/> 6.金銭管理技能を含む経済的な対応能力を高めるための学習プログラムが用意されている。				
	②新聞・雑誌の購読やテレビ等は利用者の意思や希望に沿って利用できる。	<input type="checkbox"/> 1.新聞・雑誌を購入する際に、利用者の希望を聞いている。 <input type="checkbox"/> 2.新聞・雑誌やテレビ等の共同利用の方法について、利用者間の話し合いで決められている。	非該当			<input type="checkbox"/> 1.新聞・雑誌を購入する際に、利用者の希望を聞いている。 <input type="checkbox"/> 2.新聞・雑誌やテレビ等の共同利用の方法について、利用者間の話し合いで決められている。				
(10) 所持金・預かり金の管理(入所施設限定)	③嗜好品(酒、たばこ等)については、健康上の影響等に留意した上で、利用者の意思や希望が尊重されている。	<input type="checkbox"/> 1.利用者の代表や自治会等と話し合っ、ルールを設けている。 <input type="checkbox"/> 2.具体的な場面では、自治会や利用者全員と協議して、場所・時間・方法(喫煙場所、飲酒場所・時間、一気呑みの禁止等)に様々な配慮を行っている。 <input type="checkbox"/> 3.酒やたばこの害については、利用者が正しい認識を持って、利用者全員に情報提供を行った上で、飲酒・喫煙が認められている。	非該当			<input type="checkbox"/> 1.利用者の代表や自治会等と話し合っ、ルールを設けている。 <input type="checkbox"/> 2.具体的な場面では、自治会や利用者全員と協議して、場所・時間・方法(喫煙場所、飲酒場所・時間、一気呑みの禁止等)に様々な配慮を行っている。 <input type="checkbox"/> 3.酒やたばこの害については、利用者が正しい認識を持って、利用者全員に情報提供を行った上で、飲酒・喫煙が認められている。				